

令和元年第10回教育委員会会議録

日 時	令和元年9月12日（水） 開会13：30 閉会14：30
場 所	教育長室
出席委員	教育長 宮 崎 肇 委 員 佐々木 義 朗 委 員 荒 井 由紀恵 委 員 橋 場 正 人 委 員 吉 村 恭 子
欠席委員	—
事務局職員	教育部長 澤 田 徹 教育部次長 千 田 義 彦 教育部学校指導室長 小 松 義 幸 企画総務課長 伊 藤 樹 美 学校指導課長 大 西 智 彦
書 記	企画総務課総務係長 田 中 稔 大
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

1 第10回教育委員会会議付議事件及び結果表

令和元年9月12日（木） 13：30 開会

14：30 閉会

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	令和元年千歳市議会第3回定例会教育行政報告について	原案可決
報告第1号	令和元年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業（報告）について	報告済

2 議題及び会議の概要

教育長	<p>それでは、令和元年第10回教育委員会会議を開催いたします。 日程2 会議録の承認をお願いいたします。</p>
総務係長	<p>令和元年8月28日に開催されました令和元年第9回教育委員会会議は、議案が7件ございました。</p> <p>議案につきましては、議案第1号 令和元年度補正予算（教育費関係予算）について、議案第2号 学校運営協議会委員の委嘱について、議案第3号 令和2年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書等の採択について、議案第4号 平成31年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、議案第5号 平成31年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について、議案第6号 千歳市立学校における働き方改革推進計画の改定について、議案第7号 千歳市の部活動の在り方に関する方針の策定について、原案のとおりご決定いただいております。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	<p>会議録の承認の件は、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
教育長	<p>それでは、日程3 教育長の報告に入ります。 お手元の定例校長会資料をご覧ください。 （資料に沿って、次の内容について説明）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いじめアンケート調査結果について 2. 新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業報告について 3. 緊急時における命を守る指導と連絡体制の確立について 4. 土曜授業の円滑な実施について 5. 教職員の服務規律保持の徹底について <p>教育長からの報告は以上となりますが、何かご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
教育長	<p>それでは、日程4 議案に入ります。 議案第1号 令和元年千歳市議会第3回定例会教育行政報告について、説明をお願いします。</p>

企画総務課長	<p>議案第1号 令和元年千歳市議会第3回定例会教育行政報告について、ご説明申し上げます。提案の理由であります、令和元年千歳市議会第3回定例会に教育行政の諸般について報告するため、本案を提出するものでございます。</p> <p>議案第1号別冊をご覧ください。こちらの読み上げをいたしまして、説明とさせていただきます。</p> <p>(別冊 教育政報告書 読み上げ)</p> <p>以上申し上げます、教育行政報告といたします。</p>
教育長	<p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、議案第1号につきましては、ただいまの内容で決定をいたします。</p> <p>続きまして、報告の部に入ります。</p> <p>報告第1号 令和元年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業（報告）について、説明をお願いします。</p>
学校指導課長	<p>報告第1号 令和元年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業（報告）について、別冊を用いて説明します。</p> <p>本事業は、平成27年度からコーディネーション運動の普及促進と新体力テストの実施方法の改善を目的に開始しました。</p> <p>新体力テストの種目は握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走もしくは20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの8種目からなります。</p> <p>小学校調査では、ハンドボール投げをソフトボール投げにしての8種目を行っています。</p> <p>事業においては、実践協力校を指定し、「児童生徒の力を最大限に引き出す事前・直前の指導」と「児童生徒の力を正確に測定する測定方法の改善」に視点を当てて、取組を進めています。また、その中で優れた実践については校長会議等を通して、市内に普及させています。</p> <p>今年度は、千歳第二小学校、向陽台小学校、青葉中学校を実践協力校として指定して、3月に実務者会議を開催して、4月からの取組について協議を始めております。</p> <p>資料をご覧ください。協力校3校の取組についてまとめています。</p>

まず、千歳第二小学校の取組についてです。ページ上段の折れ線グラフをご覧ください。前年度の全国の平均値を100として、当該校各種目の平均値の経年変化を示しています。

前年度と比較しまして、大きく伸びた種目が多く、特に握力と長座体前屈、反復横跳びの記録が伸びています。

下段のレーダーチャートをご覧ください。これは全国平均との比較です。男子は6種目、女子は4種目で全国平均を上回る結果となっています。

次のページをご覧ください。千歳第二小学校の重点的な取組の中で、特徴的なものについて説明します。

3つ目の丸になりますが、「運動環境を整える」とあります。体育館に反復横跳び、立ち幅跳び、20mシャトルラン、ラダートレーニングのコースを設置して、日常から練習することができる環境を作りました。

次の丸、「体育の授業改善」です。授業の始めにランニングや縄跳び、ストレッチなど、走力や跳躍力、柔軟性の向上を目指した「3分間プロジェクト」を全校的に実施しています。

次の丸にありますように、児童会の主催で各測定種目に挑戦する「チャレンジ週間」を行い、子どもたちの主体的な活動に結びつけています。

続いて、向陽台小学校の取組について説明いたします。

経年変化のグラフをご覧ください。前年度と比較して、男子は6種目で向上しています。女子は3種目が全国に比べて高い結果となりましたが、伸び悩んでいる種目が多い結果となりました。これは、女子の場合、母集団が10名程度と非常に小さくて、一人当たりの結果が大きく平均値に影響するという理由がございます。

次の全国平均との比較のレーダーチャートをご覧ください。

上体起こしと20mシャトルランは男女とも全国平均を大きく下回っております。これは課題となっておりますが、握力と反復横とびは男女とも全国平均を上回っています。

向陽台小学校の取組の中で特徴的な部分を説明いたします。

2つ目の丸にありますように、継続した記録化により子どもたちの意欲を高めるとともに、体力向上プランの作成や改善に役立てています。

また、3つ目の丸にあるように、「向小きたえルーム」を設置して、児童会活動の一環として、日常的な取組を進めています。

4つ目の丸、体育の授業についてですが、5分間のコーディネーション運動を実施しており、4月にはDVD資料を用いて校内研修を行うなど、組織的な取組を推進しています。

また、直前の指導では、小中連携・一貫教育の取組として、中学校教師4名による「走り方」の授業を実施したり、走る様子を撮影してフォーム

チェックをするなどの工夫が見られました。

続いて青葉中学校の取組についてです。

測定結果を見ると、男女ともに、前年度と比較して大きく向上していることがわかります。課題の見られた柔軟性も、長座体前屈の記録が大きく伸びており、全国平均を上回っています。

中段の全国平均との比較をご覧ください。

男女ともに握力・長座体前屈・50m走・ハンドボール投げが全国を上回る結果となっていますが、上体起こし・20mシャトルランが下回っています。

次に重点的な取組を示していますが、一つ目の丸になりますが、小中一貫教育の青葉中学校区スタンダードの一つである「自己ベスト」を意識し、全国平均と自分の記録を照らし、生徒一人一人が目標を明確にして取り組んでいました。

2つ目の丸になりますが、小中一貫教育として、校区の日の出小学校・祝梅小学校と連携して新体力テストを共同実施しています。3校では9年間を通した記録の活用も進めています。

3つ目の丸になりますが、授業改善では、春に予備調査を実施して、個々の意識を高めるとともに、結果をもとにした効果的な補強運動を授業に取り入れて成果を上げてきました。

次に結果の分析について、ご説明いたします。

(1)に実践協力校の結果をまとめております。

①にありますように、3校平均では、前年度よりも、多くの種目で向上がみられ、全国平均を上回る結果が見てとれます。

以下、各校の取組の成果をまとめておりますが、各校の特徴で説明した内容と重なりますので、後ほどご覧ください。

最後に、実践事業協力校の取組とその成果の分析から、7点について、市内各小中学校に提言し、新体力テストの実施方法改善に向け、「体力づくり」の全体計画に反映させてもらいます。

1点目は、「体力向上に向けた全校体制の確立」です。

実務担当者だけでなく、管理職や担任外の教師が計画の策定や児童生徒の指導にかかわり全校体制で取組を進めることが大切です。また、校内での記録票の統一や研修も重要と考えます。

2点目になります。「体育科授業の改善」です。

授業始めのウォーミングアップの工夫、手短な指示、素早い集合など運動量を確保し、仲間と協力して楽しく安全な運動の時間を作り出す授業改善が必要です。課題の見られる運動に対しては、適切な補助運動を盛り込むことも有効と考えます。

	<p>3点目は、「体力向上の拠点の設営」です。</p> <p>これまでの実践協力校の取組が受け継がれ、向陽台小の「向小きたえルーム」や他の2校でも、主体的に記録に挑戦できるラインや測定道具を設置するなど工夫しています。</p> <p>4点目は、「新体力テストの全学年での実施」です。</p> <p>全学年実施によって、経年変化の分析や体力向上プランの見直しを行ったり、児童生徒も自分の記録の伸びを実感することができ、運動への意欲の向上が図れます。</p> <p>5点目は、「小中の連携」です。</p> <p>小中学生が互いに刺激し合って記録を伸ばすことはもちろんですが、異学年交流による自己肯定感の高まりなども期待できる取組です。</p> <p>6点目です。「適切な条件での実施」になります。</p> <p>子どもが、持っている力を最大限引き出すために、戸外での運動が本格化する時期に実施するように提言してきていますが、現在は全小・中学校において定着しています。</p> <p>また、課題のある50m走は路面や風向の条件も記録に影響することから、配慮が必要です。</p> <p>7点目は、「全校体制での実施」です。</p> <p>教員の指導力の向上及び児童生徒の意欲の喚起につながる取組として、継続して、各学校に提言していきたい事項であります。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
教育長	<p>ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問等がありますでしょうか。</p>
吉村委員	<p>これまでの取組によって、徐々に良くなってきて、全国平均を超える状況が見られるようになってきたということだと思います。</p> <p>シャトルランは、実施方法もありますが、体力が、一番はっきり出る種目なので、競争心を煽ることなどもあると思いますが、うまいやり方をすれば、励ましあってできる種目だと思っています。</p> <p>それから、やはり、先ほど少し話がありましたが、異学年交流などは、上級生は良い恰好を見せたくなるし、そういうところで頑張りも出てくると思いますので、実施方法の工夫かなというところもあります。</p> <p>もちろん体力をつけなければならないところですが、結果だけを見れば、まだまだ伸ばせる余地はあるのかなと思います。</p> <p>それから、やはり全ての先生方の研修で、測定の仕方や日ごろからの声掛けが大事だということをしっかり周知する。特に小学校は授業の時に、いかに声掛けをするか、運動をしようということで、やっていくのが良い</p>

	<p>と思います。</p>
教育長	<p>ほかにありますか。よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（報告済み）</p>
教育長	<p>それでは、報告第1号につきましては、報告済みといたします。 これもちまして、本日の教育委員会会議を終了します。お疲れ様でした。</p>